

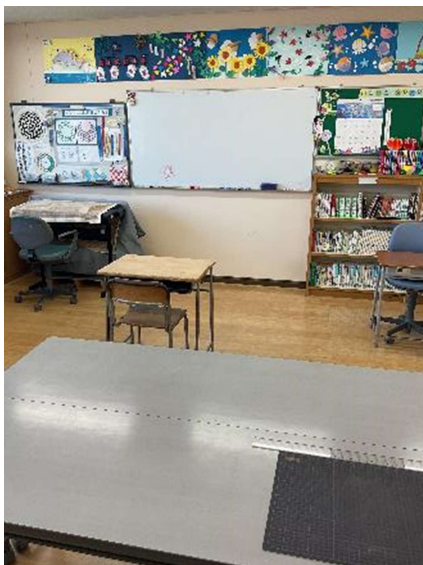
池田小学校の院内学級6月の紹介(報告)です。

東病棟4階にある院内学級教室の大窓から見える風景は、雨模様の景色が増えました。少し霽っている五月山の景色も味わい深いと大人は感じますが、子どもたちはそんなの関係ないとばかりに、教室での活動に一生懸命でした。今月も7名の子どもたちが教室に来てくれました。6月はそれまでと違い、1か月にわたる長期入院の子どもたちが増えました。最初はゲームや工作が中心ですが、途中からは学習もたくさん取り組んでいます。学習でも明るい表情をしているのを見るとこちらも癒されます。



さて、今月は院内学級にいる子どもたちの一日の生活の流れを紹介します。

院内学級の活動は10:00から始まります。実際には10時より早く始まることもあります。午前中2時間活動を行います。45分授業2限分と休憩という感じです。チャイムはなりません。その間に、診察、検査、治療、リハビリやシャワー(入浴)などがあればそちらが優先となります。もちろん院内学級に來られない体調のときは、病室で静養待機です。その時は、病室でお話ししたりゲームをしたりすることもあります。正午に昼食となるので活動は終了です。これはほぼ守られています。午後も2時から2時間あります。3時前におやつが各病室へ配られるので



そこで休憩です。そして4時に一日の活動終了です。ただ、午後の終了は、遊んだりゲームをしたりしていることが多いので、時間どおりにはまず終わりません。

このような感じで院内学級の一日が進んでいきます。それ以外は普通の入院生活と全く変わりません。退屈しないこと、楽しいこと、そして「元気になって学校に戻ろう」と思えるようにすることを常に心がけています。

院内学級の教室の中です。中央にある机椅子が児童学習用です。

手前の長机ではゲームや工作をします。